

「サス研」の歩み

(第一期：2009年8月～2013年3月、第二期：2013年7月～2018年3月)

第一期

- 2009年 8月 1日 法政大学サステナビリティ研究教育機構（機構長：船橋晴俊）発足
- 10月16日 第1回グリーン・サステナブル・ケミストリセミナー「分子シミュレーションによる物性予測を目指して」
講演者：片岡洋右（法政大学）
- 11月26日 第1回サス研フォーラム
船橋晴俊（法政大学政策科学研究科）「環境問題・環境政策・環境運動の歴史の変遷と現在の課題—環境制御システム論の視点から考える—」
- 28日 第2回グリーン・サステナブル・ケミストリセミナー「低炭素、水素社会に向けての水素の生体への付加価値的活用」
講演者：藤本正之（東京ガス）、大河内正一（法政大学生命科学部）、大田成男（日本医科大学）
- 12月10日 第2回サス研フォーラム
陣内秀信（法政大学デザイン工学研究科）「歴史と自然の資産を活かす地域づくり—イタリア都市と東京—」
- 2010年 1月23日 法政大学サステナビリティ研究教育機構創立記念シンポジウム「サステナビリティ研究のフロンティア」
基調講演：宮本憲一（元滋賀大学長、法政大学サステナビリティ研究教育機構アドバイザーボード）「サステナブル・ソサエティーの思想と現実」
パネリスト：飯田哲也（環境エネルギー政策研究所）、村瀬誠（東邦大学）、長田敏行（法政大学生命科学部）、船橋晴俊（法政大学社会学部、サステナビリティ研究教育機構長）、陣内秀信（法政大学デザイン工学部）
『Newsletter』創刊号発刊
- 2月20日 第3回グリーン・サステナブル・ケミストリセミナー「環境にやさしいセラミックスの合成」
講演者：石垣隆正（法政大学生命科学部）、朱新文（法政大学サステナビリティ研究教育機構）、目義雄（物質・材料研究機構）
- 25日 第3回サス研フォーラム
Sunanda Sen（インド社会科学院）「グローバル化におけるジェンダー論的様相」
- 3月 6日 法政大学サステナビリティ研究教育機構 2009年度研究発表会
- 12日 自然エネルギー政策公開セミナー「全量全種の固定価格買取制度の実現に向けて」（於：法政大学市ヶ谷キャンパス、主催：特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所、法政大学サステナビリティ研究教育機構、協力：自然エネルギー政策プラットフォーム、後援：東京都環境局、環境省）
- 29日 第4回サス研フォーラム
Paola Falin（ローマ大学）「サステナビリティと地域再生—イタリアにおけるオルチャ川流域とマントヴァの新たな経験」

- 4月 環境アーカイブズ・プロジェクト開始
大学院共通科目「サステイナビリティ研究入門」開講
- 22日 第5回サス研フォーラム
谷口信雄（東京都環境局）「地域間連携による再生可能エネルギーの普及政策」
- 5月22日 第4回グリーン・サステイナブル・ケミストリセミナー「地球環境問題と酸性雨・越境大気汚染は今？」
講演者：村野健太郎（法政大学生命科学部）、中根英昭（独立行政法人国立環境研究所）
- 27日 第6回サス研フォーラム
川俣修壽（ジャーナリスト）「サリドマイド事件」
- 6月17日 第7回サス研フォーラム
藤倉良（法政大学環境マネジメント研究科）「開発途上国の環境問題—中国を例として—」
- 7月2日 法政大学サステイナビリティ研究教育機構全体研究会
- 15日 第8回サス研フォーラム
長田敏行（法政大学工学研究科）「『食料のサステイナビリティⅠ』—科学的基礎—」
- 8月20日 学術誌『サステイナビリティ研究』創刊号刊行
特集：シンポジウム「サステイナビリティ研究のフロンティア」、座談会「サステイナビリティ研究の課題と方向性」
- 9月30日 第9回サス研フォーラム
牧野英二（法政大学人文科学研究科）「『持続可能な社会』と『サステイナビリティ・エシックス』の役割」
- 10月21日 第10回サス研フォーラム
小林直毅（法政大学社会学研究科）「『水俣』をめぐるメディア／アーカイブ研究」
- 11月18日 第11回サス研フォーラム
村野健太郎（法政大学工学研究科）「酸性雨・越境大気汚染問題」
- 23日 『環境総合年表—日本と世界—』（すいれん舎、編集委員会代表：船橋晴俊）刊行
- 12月9日 第12回サス研フォーラム
吉川弘之（科学技術振興機構研究開発戦略センター長）「サステイナビリティ学」
- 20日 『Newsletter』第2号発刊
- 2011年 1月30日 第13回サス研フォーラム
金慶南（法政大学サステイナビリティ研究教育機構）、柳田真（たんぼぼ舎）、近藤ゆり子（徳山ダム建設中止を求める会）「環境アーカイブズとサステイナビリティの探求」
- 2月21日 第14回サス研フォーラム
岡田久典（JST）、飯田哲也（ISEP）、江原幸雄（九州大学）、船橋晴俊（法政大学）、丸山康司（名古屋大学）「地域のエネルギーとお金を地域と地球に活かす—再生可能エネルギーによる地域と都市の新たな連携に向けて—」
- 4月28日 第15回サス研フォーラム
吉田充夫（独立行政法人国際協力機構国際協力専門員）「持続可能な開発と環境分野国際協力—開発途上国の現場から」
- 5月 震災・原発問題タスクフォースを組織
- 26日 第16回サス研フォーラム
山口幸夫（原子力資料情報室）「原子力エネルギーは制御可能か」
- 6月23日 第17回サス研フォーラム
国吉直行（横浜市立大学）「横浜の魅力的都市空間形成 40年の戦略とプロセス」

<資料>

- 7月 3日 シンポジウム「震災・原発問題の投げかけている課題と復興への展望：地域再生の視点から」
(於：法政大学市ヶ谷キャンパス)
パネリスト：赤坂憲雄（学習院大学）、伴英幸（原子力資料情報室）、茅野恒秀（岩手県立大学）、
小山厚子（小山編集室）、河村哲二（法政大学経済学部）、山岸秀雄（法政大学法学部）
法政大学サステナビリティ研究教育機構全体研究会
- 4日 岩手県陸前高田市で水損公文書の救出保全事業を開始
- 21日 第18回サス研フォーラム
佐藤禮子（カネミ油症被害者支援センター）「カネミ油症事件に学ぶ」
- 8月 1日 シンポジウム「都市の持続可能性を考える～日本の経験から学ぶこと～」
(於：法政大学市ヶ谷キャンパス、主催：法政大学大学院・サステナビリティ研究教育機構、
共催：国際連合大学高等研究所・ProSPER.Net、後援：環境省)
パネリスト：中山弘子（新宿区長）、広中和歌子（元環境庁長官）、陣内秀信（法政大学デザ
イン工学部）、船橋晴俊（法政大学サステナビリティ研究教育機構）、長谷川祐弘（法政大
学法学部）
- 10日 サス研ブックス『核廃棄物と熟議民主主義—倫理的的政策分析の可能性』（ジュヌヴィエーヴ・
フジ・ジョンソン著、船橋晴俊・西谷内博美監訳、新泉社）刊行
- 30日 『サステナビリティ研究』第2号刊行
特集「グローバリゼーション下における生存基盤としての地域・農村から問うサステナビ
リティ」
- 9月 22日 第19回サス研フォーラム
甲斐良治（社団法人農山漁村文化協会）「地域に生きる—地元学からの出発」
- 10月 22日 てつがくカフェ@ふくしま「〈いま、健康をてつがくする〉—福島で人間らしく生きるため
に—」(於：福島ビューホテル、主催：てつがくカフェ@ふくしま、法政大学サステナビ
リティ研究教育機構)
- 27日 第20回サス研フォーラム
後藤敏彦（サステナビリティ日本フォーラム）「CSRの新しいステージ」
- 11月 17日 第21回サス研フォーラム
水田恵（自立支援センターふるさとの会／すまい・まちづくり支援機構／更生保護法人同歩会）
「困窮者支援を事業として行うNPOの特徴」
- 20日 第1回国際シンポジウム（於：国連大学本部ウ・タント国際会議場、後援：朝日新聞社）
「持続可能な未来の探求 グローバリゼーションによる社会経済システム・文化変容とシステム・
サステナビリティ—「3.11」を超えて—」
パネリスト：河村哲二（法政大学経済学部）、サスキア・サッセン（コロンビア大学）、スナンダ・
セン（インド社会科学院）、スワタナ・タダニティ（カセサート大学）、アルマンド・モンタ
ナリー（ローマ・サピエンツァ大学）、ダルコ・ラドヴィック（慶應義塾大学）、船橋晴俊（法
政大学社会学部）、陣内秀信（法政大学デザイン工学部）
- 12月 15日 第22回サス研フォーラム
三留奈央（神奈川県環境農政局新エネルギー・温暖化対策部）「一石三鳥の効果！？「エコド
ライブ」の推進について」
- 16日 環境アーカイブズ資料公開室オープン
第23回サス研フォーラム「現代における環境アーカイブズの社会的意義と役割」
①安藤正人（学習院大学人文科学研究科）「アーカイブズ学の立場からみたサス研環境アーカ
イブズの意義」
②村井吉敬（早稲田大学アジア研究機構）「専門研究者の立場からサス研環境アーカイブズに
期待する機能・役割」
- 17日 てつがくカフェ「3.11以後の日本を考える—震災・原発事故をてつがくする—」(於：法政大
学市ヶ谷キャンパス、主催：法政大学サステナビリティ研究教育機構)

- 18日 法政大学大学院まちづくり都市政策セミナー／公共政策研究科設置記念セミナー
シンポジウム「再生可能エネルギーの挑戦～サステナビリティという視点から～」
- 2012年 1月29日 第24回サス研フォーラム「原子力の持続可能性を問う」
①船橋晴俊（法政大学サステナビリティ研究教育機構長）「年表的手法による原発事故の解明－福島とチェルノブイリ」
②石井秀樹（同リサーチ・アドミニストレータ）「水溶性セシウムの動態に着目した栽培実験・圃場評価の展望」
③大平佳男（同リサーチ・アシスタント）「再生可能エネルギーの普及に向けた政策と動向～いわき市を事例に」
- 2月17日 法政大学サステナビリティ研究教育機構 2011年度研究成果報告会
- 3月10日 『Newsletter』第3号発行
てつがくカフェ@ふくしま「あれから1年〈3.11〉で何が変わったか？—震災・原発をめぐって—」（於：福島ビューホテル、主催：てつがくカフェ@ふくしま、法政大学サステナビリティ研究教育機構）
- 20日 国際シンポジウム「震災後のいま問いかける」（於：法政大学市ヶ谷キャンパス、主催：法政大学サステナビリティ研究教育機構、法政大学国際日本学研究所）
パネリスト：大倉季久（桃山学院大学社会学部）、吉野馨子（法政大学サステナビリティ研究教育機構）、関いずみ（東海大学海洋学部）、熊田泰章（法政大学国際文化学部）、王敏（法政大学国際日本学研究所）、杉井ギサブロー（映像作家）、張怡香（アメリカ米中連合大学学長、ハワイ大学医学院院長）、雷剛（重慶出版社編集部）、賈蕙萱（北京大学）、金容煥（韓国倫理教育学会会長、忠北大学）、岡村民夫（法政大学国際文化学部）
- 4月26日 第25回サス研フォーラム
大石光伸（常総生活協同組合）「放射能の身体への刻み方」
- 30日 サス研ボックス『グローバリゼーションと発展途上国—インド、経済発展のゆくえ』（スナンダ・セン著、加藤眞理子訳、新泉社）刊行
- 5月24日 第26回サス研フォーラム
宮田育治（郡山医療生活協同組合）「核害に立ち向かう」
- 6月 4日 シリーズ「「フクシマ」を考える～多摩から向き合う震災と原発事故～」（於：法政大学多摩図書館、共催：法政大学多摩図書館、サステナビリティ研究教育機構）
映画上映、講演・報告、パネルディスカッション、写真展、パネル展示、図書展示を連続開催（～7月13日）
- 21日 第27回サス研フォーラム
赤沼喜典（三陸鉄道）「三陸での津波被害と復興の現状と課題」
- 7月19日 第28回サス研フォーラム
森田満樹（消費生活コンサルタント）「食分野におけるリスクコミュニケーション」
- 9月10日 研究叢書『持続可能性の危機—地震・津波・原発事故災害に向き合って』（長谷部俊治・船橋晴俊編、御茶の水書房）刊行
- 26日 シンポジウム「福島の復興に資する再生可能エネルギー利用にむけて」（於：福島大学、共催：法政大学サステナビリティ研究教育機構、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、認定NPO法人環境エネルギー政策研究所、後援：福島県、協力：JST 地域エネルギー・ファイナンス研究チーム、持続可能な風力利用研究チーム）
パネリスト：佐々木秀三（福島県企画調整部エネルギー課長）、佐藤理夫（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター）、船橋晴俊（法政大学サステナビリティ研究教育機構長）、小椋真弓（NPO法人超学際的研究機構）、丸山康司（名古屋大学大学院環境学研究所）、戸浪誠（福島県南相馬市復興企画部新エネルギー課係長）、鈴木俊雄（白河地域再生可能エネルギー推進協議会長）、二瓶厚（会津みしま自然エネルギー研究会副会長）、渡辺正彦（元東邦銀行常務取締役）
- 27日 第29回サス研フォーラム
山本俊哉（明治大学）「津波被災地の住宅再建と地域再生」

<資料>

- 10月25日 第30回サス研フォーラム
斉藤純夫（ウインドコネクト株式会社）「風力発電が日本のエネルギーの一翼を担えるのか？」
- 11月22日 第31回サス研フォーラム
宇野真介（ナマケモノ倶楽部）「食」と「農」から考える持続可能性」
- 12月20日 第32回サス研フォーラム
清水修二（福島大学）「惨禍の福島に何を見るか」
- 2013年 2月19日 『Newsletter』第4号発行
- 25日 総合研究成果報告会（於：法政大学市ヶ谷キャンパス）開催
- 3月10日 てつがくカフェ@ふくしま「フクシマはどこへ？—絶望と怒りの淵から—」（於：福島A・O・Z、主催：てつがくカフェ@ふくしま、法政大学サステイナビリティ研究教育機構）
- 31日 サス研ブックス『チェルノブイリの長い影—現場のデータが語るチェルノブイリ原発事故の健康影響』（オリハ・V・ホリッシナ著、西谷内博美・吉川成美訳、新泉社）刊行
- 『サステイナビリティ研究』第3号刊行
特集1「東日本大震災から考える科学技術利用の持続可能性」
特集2「都市農業のサステイナビリティと社会的ネットワークの再構築に関する学際的研究」の経緯と成果、今後の課題」
- 法政大学サステイナビリティ研究教育機構閉鎖
- 5月2日 研究叢書『「3.11」からの再生—三陸の港町・漁村集落の価値と可能性』（河村哲二・岡本哲志・吉野馨子編、御茶の水書房）刊行
- 2014年 3月27日 研究叢書『持続可能な未来の探求：「3.11」を超えて—グローバル化による社会経済システム・文化変容とシステム・サステイナビリティ』（河村哲二・陣内秀信・仁科伸子編、御茶の水書房）刊行

第二期

- 2013年 7月 法政大学サステイナビリティ研究所（所長：福田好朗、副所長：船橋晴俊）発足
「エネルギー戦略シフトによる地域再生」を掲げて研究領域を「環境サステイナビリティ」領域に限定し、第一期サス研が取り組んでいた環境問題領域の主要プロジェクトを継承
- 11月25日 サス研ブックス『なぜグローバル・グリーン・ニューディールなのか—グリーンな世界経済に向けて』（エドワード・B・バーピア著、赤石秀之・南部和香監訳、新泉社）刊行
- 12月8日 国際シンポジウム「エネルギー政策の転換と公共圏の創造—ドイツの経験に学ぶ」（於：法政大学多摩キャンパス）開催
講演者：ペーター・ヘニッケ（前ヴッパータール研究所所長、前ダルムシュタット大学教授）、山本知佳子（前在独ジャーナリスト）、北澤宏一（福島原発事故独立検証委員会委員長、東京都市大学学長）、アイリーン・美緒子・スミス（グリーン・アクション代表）、船橋晴俊（法政大学社会学部、原子力市民委員会座長）、ヨーク・スミヤ・ラウパッハ（立命館大学）
- 2014年 2月17日 『Newsletter』第5号発行
- 3月15日 『サステイナビリティ研究』第4号刊行
特集1「地域に根ざした再生可能エネルギー振興の諸課題」
特集2「地域を支える暮らしの共同、女性と生活の持続性」

- 7月10日 *A General World Environmental Chronology* (すいれん舎、編集委員会代表：船橋晴俊) 刊行
- 12日 世界社会学会議・プレコンファレンス「サステイナビリティと環境社会学」(於：パシフィコ横浜) 開催
第1テーマ部会「福島原子力事故と社会改革に向けた諸課題」
主催：法政大学サステイナビリティ研究所、環境社会学会、Research Committee 24, International Sociological Association
- 13日 世界社会学会議・プレコンファレンス「サステイナビリティと環境社会学」(於：パシフィコ横浜) 開催
第2テーマ部会「環境問題の歴史と環境社会学」
主催：法政大学サステイナビリティ研究所、環境社会学会、Research Committee 24, International Sociological Association
- 22日 『原子力総合年表—福島原発震災に至る道』(すいれん舎、編集委員会代表：船橋晴俊) 刊行
- 2015年 2月17日 『Newsletter』第6号発行
- 3月15日 『サステイナビリティ研究』第5号刊行
特集1「復興支援・政策の課題とその持続可能性を問い直す」
特集2「震災、原発事故とメディア」
- 8月31日 *Errata to A General World Environmental Chronology* 刊行
- 11月18日 「気候変動と持続可能なエネルギーに関する国際ワークショップ」(於：韓国・済州島、主催：アジア気候変動教育センター(韓国・済州島)、法政大学サステイナビリティ研究所) 開催
- 2016年 2月 3日 公開研究会「原発事故後の「地域再生」を考える」(於：法政大学市ヶ谷キャンパス) 開催
発表者：松尾隆佑(法政大学サステイナビリティ研究所)、友澤悠季(法政大学サステイナビリティ研究所)、白井信雄(法政大学サステイナビリティ研究所)、豊田陽介(NPO 法人気候ネットワーク)
ゲストコメンテーター：山本信次(岩手大学)、大場真(国立環境研究所社会環境システム研究センター)、五味馨(国立環境研究所社会環境システム研究センター)
- 3月15日 『サステイナビリティ研究』第6号刊行
特集「再生可能エネルギーによる地域再生—戦略的になすべきこと」
- 18日 『Newsletter』第7号発行
- 8月25日 船橋晴俊・壽福眞美編著『持続可能なエネルギー社会—ドイツの現在、未来の日本』(法政大学出版局) 刊行
- 11月 4日 「日本と韓国における再生可能エネルギーワークショップ」(於：長野県飯田市、主催：法政大学サステイナビリティ研究所、アジア気候変動教育センター(韓国・済州島)、協力：飯田市、おひさま進歩エネルギー株式会社) 開催
- 2017年 3月 1日 『Newsletter』第8号発行
- 10日 総合研究会「原発事故とエネルギー構造の転換—エネルギー戦略シフトに向けて」(於：法政大学市ヶ谷キャンパス) 開催
発表者：堀川三郎(法政大学社会学部)、長谷部俊治(法政大学社会学部)、壽福眞美(法政大学社会学部)、白井信雄(法政大学サステイナビリティ研究所)
コメンテーター：寺田良一(明治大学)、寺西俊一(一橋大学)、坪郷實(早稲田大学)、堀尾正韜(東京農工大学)、松原弘直(環境エネルギー政策研究所)
- 15日 『サステイナビリティ研究』第7号刊行
特集「原発事故被災からの回復—被災者・被災地のイニシアティブ—」
- 22日 公開研究会「ボトムアップによる原発事故被災地の「再生」—イニシアティブを発揮するために」(於：法政大学市ヶ谷キャンパス) 開催
発表者：早尻正宏(北海学園大学)、竹峰誠一郎(明星大学)、清原悠(法政大学サステイナビリティ研究所)
ゲストコメンテーター：山本信次(岩手大学)、友澤悠季(長崎大学)、定松淳(東京大学)

<資料>

- 7月23日 シンポジウム「持続可能なエネルギー社会を創る—『日本エネルギー計画 2050』を構想するために」(於:法政大学多摩キャンパス)開催
パネリスト:壽福眞美(法政大学サステナビリティ研究所)、飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)、藤野純一(地球環境戦略研究機関)、植屋治紀(WWF ジャパン、システム技術研究所)、荻本和彦(東京大学)、明日香壽川(東北大学)、吉田文和(愛知学院大学)
- 2018年 1月29日 原発事故被災地再生研究会「政策提案:原発事故被災からの回復に向けた被災者・被災地のイニシアティブ」公表
- 31日 『再生可能エネルギーによる地域づくり~自立・共生社会への転換の道行き』(白井信雄著、環境新聞社)刊行
- 2月21日 シンポジウム「再生可能エネルギーによる地域づくり 自立・共生社会への転換の道行き」(於:法政大学市ヶ谷キャンパス、主催:法政大学サステナビリティ研究所、環境新聞社、後援:環境自治体会議環境政策研究所)
パネリスト:中島恵理(長野県副知事)、藤田壮(国立環境研究所社会環境システム研究センター長)、白井信雄(法政大学サステナビリティ研究所)、杉山範子(名古屋大学環境学研究科)、志澤昌彦(ほうとくエネルギー株式会社副社長)、服部乃利子(しずおか未来エネルギー株式会社社長)
- 3月 1日 『Newsletter』第9号発行
- 11日 『原発災害・避難年表』(編集代表:堀川三郎、すいれん舎)刊行
- 15日 『サステナビリティ研究』第8号刊行
- 16日 『原発震災のテレビアーカイブ』(小林直毅編著、法政大学出版局)刊行
福島県および韓国済州島におけるインタビュー調査報告書を刊行予定
ドイツ調査報告書を刊行予定
- 4月 ペーター・ヘニッケ、パウル・J・J・ヴェルフェンス著、壽福眞美訳『福島核電事故を経たエネルギー転換—ドイツは特殊な道か、それとも世界の模範か』(新評論)刊行予定
- 5月 『日本エネルギー計画 2050』(壽福眞美編著、法政大学出版局)刊行予定

(※敬称略、所属・肩書は当時、作成:松尾隆佑)